

Case 01 警備業

警備業における労働者の 負担軽減対策

株式会社セキュリティ庄内(本社山形県)

費用の目安

数百万円

取り組み内容

座ることで、疲労・ストレスの軽減、心拍数・血圧などの上昇の抑制、身体的な負担が軽減されるとの研究結果をもとに、座哨しての警備を実践しています。

また、警備業には欠かせないヘルメットには、UVカットシールドを内蔵したものを採用しました。

熱中症対策として、ポロシャツ型警備服の導入や取り外し可能な空調ファン、各労働者に経口補水パウダーや飲料水、瞬間冷却剤が入った、熱中症救急キットを支給しています。また、従来の警備のイメージから脱却するため、デザイン性と機能性を兼ね備えた高い制服や防寒着なども導入しました。



事業者の声



当社は警備でも交通誘導の業務を行っていますが、「なんで警備は立っていないといけないのだろう」と疑問に思う気持ちが元々ありました。

社員の将来と健康を考えてさまざまな取り組みを試験的に行っている中で、座哨警備を知り、労働者の負担が軽減されるというエビデンスがあったため、導入を決めました。



座哨警備を行う際には、事前に現場の責任者と話し合い、作業場所と警備の位置関係や交通量を確認、安全第一で実施しています。

現在、実際に座哨警備ができる現場は1～2割ほどですが、今後、座哨警備の導入・普及には、建設会社や工事の発注者さまなどさまざまな関係者の意識を変えていく必要があると考えています。これらの取り組みに対する皆さまの認知が進み、座哨警備を行う土壌が整うとありがたいです。

また、警備服についても違うスタイルがあってもいいのではと、ポロシャツ型などを導入し、社員から好評です。

現場の労働者の声

イス、ポロシャツ、空調ファン、シールドなど使用開始した当初は、他社がしていないことを、私たちの会社だけが行うことに対し、最初は若干抵抗がありました。実際に使用すると、以前よりも快適で、今ではなくてはならないものとなっています。

「警備員は立っているのが当たり前」「夏は暑いものだ」というような長年の固定概念を覆し、「こういうものがあれば、もっと快適に仕事ができるのだけどなあ」という私たちの現場の声を、親身になって取り入れてくれる会社に感謝です。



(ご参考) 株式会社セキュリティ庄内HP
<https://www.s-shounai.jp/>